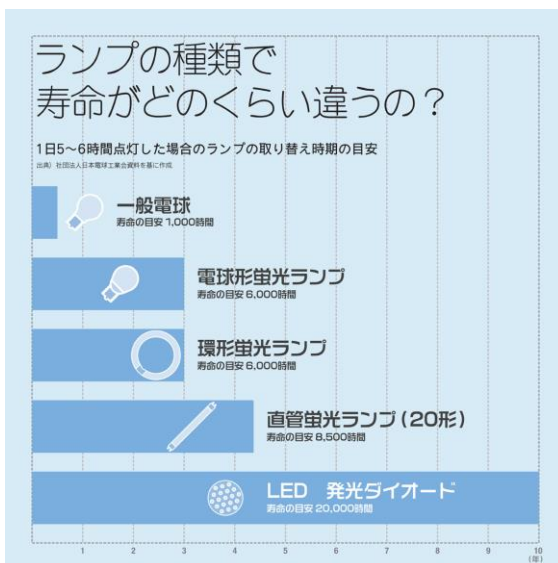


ランプの寿命を 考えてみよう!

右の表は、1日5時間程度点灯した場合のランプの取替時期です。一般電球は役半年。LEDは約10年となっていますね。消費電力が少なく、電気代が安い、CO2の発生量も少ないLED。ここ数年で、価格もかなり下がってきました。ぜひ、次回買替の際はLED電球の購入をご検討ください!



「Eco列車でいこう!」~第70回 「こたつ舟」と「きらきらうえつ」 (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

3月のとある日、青春18きっぷを持って旅に出発です。

早朝の新津駅から酒田行きのディーゼルカーに乗車。各駅に停車しながら山形県庄内地方に向かいます。9:15 余目(あまるめ)着。ここには、「町湯」というおしゃれな温浴施設があります。この「町湯」にはギャラリーが併設されており、絵を眺めたり温泉に入ったりしてのんびり過ごしました。

駅前には余目製パンのお店があります。ここの人気はフルーツサンド(280円)。甘さ控えめのクリームとイチゴ、バナナなどフレッシュな果物が食パンに挟まれており、とてもおいしかったです。

12:03 発の陸羽西線新庄行きに乗車。狩川を過ぎると最上川が左の窓に寄り添います。

古口駅で降りて、徒歩5分で最上川川下り乗船場に到着です。山形名物芋煮、玉こんにゃく、おにぎり付の乗船券(2,350円)を事前予約しておきました。

船に入ると、こたつと食事がお出迎えです。名調子の船頭さんが「最上川船唄」「真空川音頭」を唄い、地酒を飲み、芋煮を食べながら舟は進んでいきます。「雪解けを集めて早し最上川」といったところでしょうか。1時間の船旅の予定でしたが、増水により予定より10分早く、船着き場に到着しました。

最寄駅からディーゼルカーに乗り、酒田へ。16:11 発の「きらきらうえつ」に乗車です。この列車には茶屋が併設されており、「村上茶と和菓子のセット」を購入。急須のお湯は何回でもおかわりできます。

「日本海の夕暮れを見ながら村上茶を飲む。」いやされるひとときを過ごし、18:32 に新潟駅に到着しました。

おいしくて、たのしい、日帰りトリップとなりました。

